

## BEST AVAILABLE COPY

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-062032

(43)Date of publication of application : 13.03.2001

(51)Int.Cl.

A63F 5/04

(21)Application number : 11-241156

(71)Applicant : YAMASA KK

(22)Date of filing : 27.08.1999

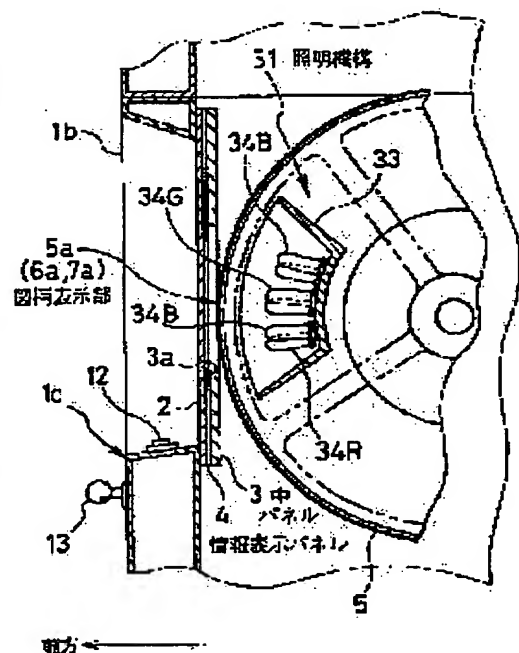
(72)Inventor : YAMAGUCHI TAKU  
AOKI YOSHIO  
KAWAKAMI HIROSHI  
OGURO YUJIRO

## (54) SLOT MACHINE

## (57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To display light transmissive characters, pictures and lines on an information display panel by dot patterns on or near a back surface of the front surface panel and to make the displayed characters and pictures or the like, easy to see or hard to see as the need.

**SOLUTION:** The light transmissive information display panel 4 is constituted of a glass substrate and an EL element of a thin film type formed on the back surface and the information display panel 4 is provided with a matrix display part capable of display by the dot patterns through the dots of many rows and many columns capable of light emission. In the meantime, by an illumination mechanism 31 provided on an inner side of a rotary reel 5 of a pattern display part 5a, illumination is performed by light of plural colors including three primary colors by combination of a red LED 34R, a green LED 34G and a blue LED 34B. Thus, the winning lines, animations and the pictures or the like, displayed on the information display panel 4 are clearly displayed to be surfaced or are made hard to see.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 30.05.2002

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 17.10.2003

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection] 2003-22246

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection] 17.11.2003

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2001-62032  
(P2001-62032A)

(43) 公開日 平成13年3月13日 (2001.3.13)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テーマコード <sup>*</sup> (参考)
A 6 3 F 5/04	5 1 2 5 1 1	A 6 3 F 5/04	5 1 2 D 5 1 1 C

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 12 頁)

(21) 出願番号 特願平11-241156

(22) 出願日 平成11年8月27日 (1999.8.27)

(71) 出願人 390026620

山佐株式会社  
岡山県新見市高尾362-1

(72) 発明者 山口 卓

岡山県新見市高尾362の1 山佐株式会社  
内

(72) 発明者 青木 良夫

岡山県新見市高尾362の1 山佐株式会社  
内

(74) 代理人 100089004

弁理士 岡村 俊雄

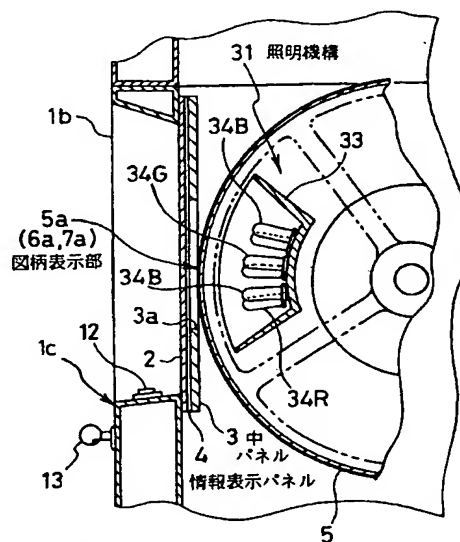
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 スロットマシン

(57) 【要約】

【課題】 前面パネルの背面又は背面近傍に光透過性の文字や絵図や線図を情報表示パネルにドットパターンで表示可能にし、しかもその表示する文字や絵図等を、必要に応じて見え易く或いは見えにくくすること。

【解決手段】 光透過性のある情報表示パネル4は、ガラス基板とその背面に形成された薄膜形のEL素子とで構成され、情報表示パネル4は発光可能な多数行多数列のドットを介してドットパターンで表示可能なマトリクス表示部を有する。一方、図柄表示部5aの回転リール5の内側に設けた照明機構31により、赤LED34Rと緑LED34Gと青LED34Bの組合せて、3原色を含む複数色の光で照明される。これにより、情報表示パネル4に表示される入賞ライン、アニメーション、絵図等が浮き上がるように明瞭に表示されたり、見えにくくなる。



前方 ←

34R : 赤発光ダイオード (赤LED)

34G : 緑発光ダイオード (緑LED)

34B : 青発光ダイオード (青LED)

## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 複数の図柄表示部に夫々図柄をスクロール表示可能な図柄表示手段と、これら図柄表示部とその周囲部の前面側に配設された透明な前面パネルとを備えたスロットマシンにおいて、

前記前面パネルの背面または背面近傍に、複数行複数列のドットを介してドットパターンで表示可能なマトリクス表示部を備えた光透過性のある情報表示パネルと、前記情報表示パネルの表示色に関連した色で発光可能で前記図柄表示手段を照明する照明手段と、を備えたことを特徴とするスロットマシン。

【請求項 2】 前記各図柄表示部に設けられた回転リールの外周部を半透明に構成し、前記照明手段を各回転リールの内側に設けたことを特徴とする請求項 1 に記載のスロットマシン。

【請求項 3】 前記情報表示パネルのマトリクス表示部は、複数の図柄表示部に対応する位置に、文字や絵図や複数の入賞ラインをドットパターンで表示可能に構成され、前記照明手段は、少なくとも情報表示パネルの発光色に対して同系色と補色とに切換えて発光可能に構成されたことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載のスロットマシン。

【請求項 4】 前記情報表示パネルが透明 EL (エレクトロルミネッセンス) パネルであり、前記照明手段は赤、緑、青に夫々発光可能な 3 種類の光源であることを特徴とする請求項 1 ～ 3 の何れかに記載のスロットマシン。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、スロットマシンに関する。特に前面パネルの背面側に複数行複数列のドットを介してドットパターンで表示可能な情報表示パネルを設けたものに関する。

## 【0002】

【従来の技術】 3 リール式の一般的なスロットマシンは、1 ～ 3 枚のメダルを投入してからスタートレバーの操作で 3 つの回転リールを回転させ、ストップボタンの操作でリールの回転を停止させる。このとき、メダル枚数に応じて有効化された 1 又は複数の入賞ライン上の停止図柄の組合せによって、入賞かハズレかが判定される。そして、入賞したときには、図柄の種別に応じた枚数のメダルを遊技者に払い出すようになっている。例えば、図 23 のスロットマシン 100 では、前面パネルから見えるように、種々の表示器や表示ランプ等が設けられている。

【0003】 前面パネル 103 の中央部には図柄表示窓 103a ～ 103c が形成され、前面パネル 103 の背面側にある 3 つの回転リール 105 ～ 107 の外周部の複数の図柄のうちの前面側の 3 つの図柄が正面から見える。図柄表示窓 103a ～ 103c の上側には、レギュ

ラーボーナス (当たり) やビッグボーナス (大当たり) などの入賞のときに点灯する 12 個のボーナスランプ 110、リプレイが可能であることを指示するリプレイランプ 111 等の表示ランプが設けられている。尚、ランプ 110、111 は LED ランプからなる。

【0004】 前面パネル 103 の右下隅部及び左下隅部には、有効化された入賞ラインに対応する 3 つの図柄の組合せが「当たり」や「大当たり」に入賞したときに、クレジットとして払い出すメダルの枚数等を 2 桁の 7 セグメント数字で表示する 7 セグメント表示器と、メダル貯留枚数を 2 桁の 7 セグメント数字で表示する 7 セグメント表示器 112 とが夫々設けられている。

【0005】 一方、前面パネル 103 の前面側には、図柄表示窓 103a ～ 103c を介して表示される 3 列 × 3 行からなる 9 つの図柄に対して、1 枚のメダル投入で有効になる中段の 1 メダル用入賞ライン L1 と、2 枚のメダル投入で追加的に有効になる 2 本の 2 メダル用入賞ライン L2、L3 と、3 枚のメダル投入で追加的に有効になる 3 メダル用入賞ライン L4、L5 とが夫々印刷されている。また、夫々のラインの左側には対応するラインが有効化されたとき、対応するラインに図柄が揃ったとき等に点灯するライン表示ランプが設けられている。また一般に、回転リールは奥まった位置に配設されているので、前面パネルの裏側に回転リールを照明するための手段が設けられている。

【0006】 ところで、最近、遊技性を高めたり入賞を判別し易くする為に、前面パネルに補助表示手段を設け、この補助表示手段を介してラインや図形を表示する技術が種々提案されている。例えば、特開平 4-220276 号公報に記載の 3 リール式スロットマシンでは、各回転リールに対応する図柄表示窓の前側に、3 組の液晶シャッターを列状に配置し、各ゲーム終了時に入賞の組合せ図柄を表示窓を介して表示する一方、入賞でない残り 6 つの図柄に対応する液晶シャッターを不透明に切換えることで、入賞ライン上の 3 つの入賞図柄のみを図柄表示窓に表示させるようにしてある。

【0007】 特開平 11-99240 号公報に記載の 9 リール式スロットマシンでは、図柄表示窓を形成した前面パネルの裏面に、縦 3 本、横 3 本、斜め 2 本の合計 8 本の入賞ラインに対応させて、薄い帯状の EL テープ (エレクトロルミネッセンステープ) を夫々固定して設けてある。メダル投入毎に有効化される入賞ラインの EL テープを表示させ、各ゲーム終了時にその入賞した入賞ラインの EL テープを点滅表示するようにしている。この場合、前面パネルの裏側に照明用の蛍光灯が設けられ、この蛍光灯の照明により、各リールの外周面や前面パネルを照射することにより、遊技者は各シンボル表示窓を介して、9 つのシンボルを明瞭に見えるようにしてある。

【0008】

【発明が解決しようとする課題】 特開平4-220276号公報のスロットマシンでは、液晶シャッターを閉じて入賞してない図柄を隠すことができるが、有効化されなかった入賞ラインも常に表示され、常に多数の入賞ラインが表示される。それ故、各回転リールの図柄が見にくくなること、種々の表示ランプや表示器などは別途設ける必要があり、構成が複雑化すること等の問題がある。

【0009】特開平11-99240号公報のスロットマシンでは、有効化された入賞ラインだけを表示させることができる。しかし、各入賞ラインは前面パネルに形成した図柄表示窓の仕切り棧により分断表示されるため、連続的に連なる入賞ラインとして表示することができない。その他の表示ランプや7セグメント表示器などは別途設ける必要があるなどの問題がある。

【0010】このように、従来提案されている技術では、表示の目的、内容が特化されており、遊技者にあきられやすく、また、汎用性に乏しいという問題があった。本発明の目的は、前面パネルの背面又は背面近傍に光透過性の文字や絵図や線図を情報表示パネルにドットパターンで表示可能で、しかも照明手段からの光によりその表示する文字や絵図等を、必要に応じて見え易く、或いは見えにくくできるスロットマシンを提供することである。

#### 【0011】

【課題を解決するための手段】 請求項1のスロットマシンは、複数の図柄表示部に夫々図柄をスクロール表示可能な図柄表示手段と、これら図柄表示部とその周囲部の前面側に配設された透明な前面パネルとを備えたスロットマシンにおいて、前面パネルの背面または背面近傍に、複数行複数列のドットを介してドットパターンで表示可能なマトリクス表示部を備えた光透過性のある情報表示パネルと、情報表示パネルの表示色に関連した色で発光可能で図柄表示手段を照明する照明手段とを設けたものである。また、複数の情報表示パネルを重ねて設けることもある。情報表示パネルの表示色に関連した色として、同色及び補色を例示し得る。

【0012】前面パネルの背面または背面近傍に設けられた情報表示パネルは、例えば透明EL（エレクトロルミネッセンス）素子等を主体にして構成した光透過性のある発光可能なパネルで構成されている。所定の色に発光可能な複数行複数列のドットを介してドットパターンで表示可能なマトリクス表示部に、メダル投入で有効化される入賞ラインだけを表示させたり、複数文字のメッセージや絵図や線画を表示させたりすることができる。

【0013】例えば、情報表示パネルのマトリクス表示部に、説明情報やメッセージなどの文字、「当たり」や「大当たり」や「リーチ状態」のときなどに、ゲームを盛り上げるような種々の絵図、メダル投入枚数に応じて有効化された入賞ラインなどの線画等の情報表示をドッ

トパターンで表示することができる。しかも、情報表示パネルは光透過性のものであり、照明手段は、情報表示パネルの表示色に関連のある色で発光可能であるから、照明手段の発光色を適宜選択することにより、情報表示パネルの表示を妨げることなく回転リールを照明することができる。

【0014】ここで、前記各図柄表示部に設けられた回転リールの外周部を半透明に構成し、前記照明手段を各回転リールの内側に設けた場合（請求項1に従属の請求項2）には、各回転リール内側の空きスペースを有効活用して照明手段をコンパクトに設けることができる。しかも、照明手段からの光を、半透明である回転リールの外周部を介して広角度に且つ均一に拡散させて、情報表示パネルにバックライトとして照明させることができる。

【0015】また、前記情報表示パネルのマトリクス表示部は、複数の図柄表示部に対応する位置に、文字や絵図や複数の入賞ラインをドットパターンで表示可能に構成され、前記照明手段は、少なくとも情報表示パネルの発光色に対して同系色と補色とに切換えて発光可能に構成された場合（請求項1又は2に従属の請求項3）には、照明手段により情報表示パネルの発光色と補色関係にある光で照明しながら、メダル投入毎に、投入枚数に応じて有効化された入賞ラインや文字や絵図等を表示することで、これら入賞ラインや文字や絵図等を、複数の図柄表示部に対応させてドットパターンにより、明瞭に且つ際立たせて表示させることができる。

【0016】一方、照明手段により情報表示パネルの発光色と同系色の光で照明することで、これら入賞ラインや文字や絵図等を意図的に見えにくくすることができる。これにより、より多様な演出が可能となる。

【0017】また、前記情報表示パネルが透明EL（エレクトロルミネッセンス）パネルであり、前記照明手段は赤、緑、青に夫々発光可能な3種類の光源である場合（請求項1～3の何れかに従属の請求項4）には、EL素子はその蛍光体に電界を印加したときの励起発光により発光するものであり、例えばZnS（硫化亜鉛）などの蛍光体を含む発光層の両端間に直流電圧又は交流電圧を印加することにより、蛍光体の種類に応じた色調で発光する。

【0018】しかも、赤、緑、青に夫々発光可能な3種類の光源を組合せてバックライトとして発光させることにより、赤、緑、青以外に、橙色や桃色や黄緑等の所望の色の光を択一的に発光させることができる。その結果、回転リール上の絵柄を照明すると同時に、情報表示パネルに表示された入賞ラインや絵図等を効果的に表示させたり、見えにくくしたり、更にはゲームを効果的に盛り上げることができる。赤、緑、青に夫々発光可能な光源としては、発光ダイオードを例示し得る。

【0019】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態について図面に基いて説明する。本実施形態は 3 リール式のスロットマシンに本発明を適用した場合の一例である。このスロットマシンは、メダルを投入してからスタートレバーを操作することで 3 つの回転リールを回転させ、ストップボタンを操作して回転リールを停止させたときの入賞ラインに対応する 3 つの図柄の組合せによる入賞に応じてメダルを払い出す構成のものである。

【0020】図 1、図 2 に示すように、スロットマシン 1 の本体フレーム 1 a のうち、高さ方向中段部のゲーム本体部に対応する中段フレーム部 1 b の直ぐ内側には、透明な合成樹脂又はガラス製の矩形状の前面パネル 2 が鉛直に配設され、この前面パネル 2 の背面側に情報表示パネル 4 が配設されている。中段フレーム部 1 b の背方（後方）には、左右に並べた 3 つの回転リール 5 ~ 7 が中パネル 3 に接近して夫々独立に回転可能に配設され、リール駆動モータ 5 1 ~ 5 3（図 6 参照）で所定方向へ夫々個別に回転駆動される。

【0021】前記各回転リール 5 ~ 7 の外周部はポリエステルフィルムなどからなる半透明に構成され、各回転リール 5 ~ 7 の外周面には、「7」、「BAR」、「スイカ」、「プラム」、「ベル」・・・などの複数種類の 2 1 個の図柄が所定間隔おきに 1 列状に印刷されている。回転リール 5 ~ 7 及びその外周面の複数の図柄、リール駆動モータ 5 1 ~ 5 3 などが図柄表示手段に相当し、各回転リール 5 ~ 7 のうちの前端部分の 3 つの図柄（図柄表示窓 3 a ~ 3 c から見える 3 つの図柄）を表示する部分が各図柄表示部 5 a ~ 7 a である。ここで、入賞ラインは、後述の情報表示パネル 4 に表示される。LED 表示ランプや 2 桁の 7 セグメント数字を表示する 7 セグメント型表示器などは設けられておらず、LED 表示ランプの代わりの表示と 2 桁の 7 セグメント数字の表示は、情報表示パネル 4 を介して表示される。

【0022】図 4、図 5 に示すように、前面パネル 2 の裏面（背面）に、EL 素子 2 5 を有する光透過性の情報表示パネル 4 が配設されている。情報表示パネル 4 の下端部分を除く大部分の領域に、ドットパターンで表示可能なマトリクス表示部 4 a が設けられるとともに、情報表示パネル 4 の右下隅部と左下隅部とにセグメント表示部 4 b が夫々設けられている。尚、EL 素子 2 5 の全領域がフレーム部 1 c を通して前面から表示可能な領域である。

【0023】情報表示パネル 4 は、1、2 mm 程度の厚さの透明なガラス基板 2 5 a と、このガラス基板 2 5 a の裏面（背面）上に固着された透明な薄膜形の EL 素子 2 5 とで構成されている。この EL 素子 2 5 は、例えば ZnS などの蛍光物質を主成分とする発光層と、その両面に固定された電極類と、これら電極類の表面を覆う絶縁層などからなる。マトリクス表示部 4 a における EL 素子 2 5 においては、発光層の背面に多数本の透明な左

右方向向きの走査電極 2 1 が形成され、発光層の前面に多数本の透明な上下方向向きのデータ電極 2 2 が形成されている。それら走査電極 2 1 の表面とデータ電極 2 2 の表面とが透明な絶縁層で夫々覆われている。尚、走査電極 2 1 とデータ電極 2 2 とは ITO（酸化インジウム・錫）等の透明導電膜で夫々構成されている。

【0024】マトリクス表示部 4 a において、走査電極 2 1 とデータ電極 2 2 との多数の交点（発光可能なドット）が多数行多数列のマトリクス状に、例えば 200 dpi の解像度で形成されている。走査電極 2 1 とデータ電極 2 2 を介して前記の交点に電界を印加すると、発光層のドット状部分が励起発光し黄橙色に発光する。例えば走査電極 2 1 を接地側とし、データ電極 2 2 を直流パルス印加側とし、表示データに基づいて多数のデータ電極 2 2 を駆動制御する。この場合、所定微小時間おきに多数の走査電極 2 1 を順々に接地させる一方、これと同期して所定微小時間おきに、多数のデータ電極 2 2 のうちの選択されたものに順々に直流パルスを印加することにより、予め設定した文字列や絵図や線画などをドットパターンにて表示可能である。こうして、文字列、1 又は複数の絵図、アニメーション（動画）、入賞ライン L 1 ~ L 5 等を黄橙色のドットパターンで表示可能である。

【0025】前記各セグメント表示部 4 b において、図 5 に示すように、前記同様の発光層の背面に 2 桁の 7 セグメント数字に対応する透明な 1 4 個の接地電極 2 3 が固定されている。その発光層の他方の面には、1 4 個の接地電極 2 3 に対向する透明な 1 4 個のデータ電極 2 4 が固定され、それら電極 2 3、2 4 の表面が透明な絶縁層で覆われている。1 4 個のデータ電極 2 4 に選択的に直流パルスを印加することで、2 桁の数字を 7 セグメント数字にて黄橙色に表示可能になっている。

【0026】次に、マトリクス表示部 4 a とセグメント表示部 4 b の表示駆動回路 2 6（駆動制御手段に相当）について説明する。図 5 に示すように、多数の走査電極 2 1 の端部が走査線ドライバ 2 8 に接続され、多数のデータ電極 2 2 の端部がデータ線ドライバ 2 7 に接続されている。データ線ドライバ 2 7 には制御装置 3 5 からデータ信号が供給され、データ線ドライバ 2 7 と走査線ドライバ 2 8 に同期用のクロック信号が供給される。各セグメント表示部 4 b の接地電極 2 3 とデータ電極 2 4 とに、セグメントドライバ 2 9、3 0 が夫々接続されている。各セグメントドライバ 2 9、3 0 には、制御装置 3 5 からセグメント表示信号が夫々供給される。

【0027】次に、各図柄表示部 5 a ~ 7 a に夫々設けられた照明機構 3 1（これが照明手段に相当する）について、図 2、図 3 に基づいて説明する。但し、これら 3 つの照明機構 3 1 は同様の構成なので、左側の図柄表示部 5 a に設けられた照明機構 3 1 について説明する。中断フレーム 1 b に後端部が支持された支持板 3 2 にリー

ル駆動モータ 51 が固着され、このリール駆動モータ 51 の駆動軸 51a に回転リール 5 が固定されている。

【0028】回転リール 5 の内側に対応する支持板 32 に、前方が放射状に解放したランプハウス 33 が前方向きに固着されている。このランプハウス 33 の内部に、赤色に発光する 2 つの発光ダイオード（赤 LED）34R と、緑色に発光する 2 つの発光ダイオード（緑 LED）34G と、青色に発光する 2 つの発光ダイオード（青 LED）34B とが、相互に異色関係となるように略前方向きに配設されている。

【0029】即ち、これら 3 種類の LED 34R、34G、34B を組合せて発光させることで、赤、緑、青の光の 3 原色だけでなく、情報表示パネル 4 の発光色（黄橙色）と同系色である黄橙色の光、情報表示パネル 4 の発光色と補色関係にある光（例えば、青紫色）を、情報表示パネル 4 の背面側から照明可能になっている。更に、これ以外にも桃色や紫色、黄色等の複色色を択一的に発光して回転リール 5 の図柄を照明可能になっている。ここで、中パネル 3 全体が半透明に構成されているが、図柄表示窓 3a ～ 3c に対応する部分だけは部分的に透明に構成してある。

【0030】それ故、LED 34R、34G、34B により、回転リール 5 の外周部と中パネル 3 とを介して青紫の光で回転リール 5 の図柄を内側から照明することにより、回転リール 5 上の絵柄を明瞭に照明できると同時に、情報表示パネル 4 の入賞ラインや文字や絵図等を明瞭に且つ際立たせて表示することができる。また、LED 34R、34G、34B により黄橙の光で照明することにより、これら入賞ラインや文字や絵図等を見えにくくすることができ、遊技者に注意を促したり、効果的な演出の一助とすることができる。

【0031】次に、このスロットマシン 1 の制御系について説明する。図 6 のブロック図に示すように、制御装置 35 は、CPU 36 と ROM 37 と RAM 38 とを含むマイクロコンピュータ、入力インターフェイス 39、出力インターフェイス 40、駆動回路 34a ～ 34c、41 ～ 45 などと構成されている。入力インターフェイス 39 には、メダル投入センサ 50、ベットボタン 11 に連動して作動するベットスイッチ 11a、スタートレバー 13 に連動されたスタートスイッチ 13a、ストップボタン 14 ～ 16 に夫々連動されたストップスイッチ 14a ～ 16a、精算ボタン 12 に連動された精算スイッチ 12a などが接続されている。

【0032】出力インターフェイス 40 には、情報表示パネル 4 を駆動制御する表示駆動回路 26、リール駆動モータ 51 ～ 53 を駆動する為の駆動回路 41 ～ 43、払い出し装置 54 の為の駆動回路 44、各 LED 34R、34G、34B を駆動する駆動回路 34a ～ 34c、各種のサウンドを出力するスピーカ 19 の為の駆動回路 45 等が接続されている。尚、図中の符号 10 はメ

ダル投入口、符号 18 はメダル排出口を示す。

【0033】ROM 37 には、後述の種々の手段 60 ～ 71 としての機能を達成するように機器を制御する複数の制御プログラムが格納され、ROM 37 の表示データメモリ 37a には、図 7 に示す種々の表示データが格納されている。これらの表示データには、遊技開始前に遊技の仕方を説明する遊技説明を文字列で表示する遊技説明表示データ（図 10 参照）、メダルの投入枚数に応じて有効化される入賞ライン L1 ～ L5 を表示する入賞ライン表示データ（図 8 参照）が記憶されている。

【0034】更に、LED ランプに代わるランプマークであって点灯状態を示すランプマーク M1 ～ M3 および消灯状態を示すランプマーク M1a を表示するランプマーク表示データ（図 8 参照）、2 桁の数字を 7 セグメント表示する数字表示データ（図 8 参照）が記憶されている。更に、リーチ状態を示すリーチマークを表示するリーチマーク表示データ（図 16 参照）、大当たりを示す大当たりマークを表示する大当たりマーク表示データ（図 20 参照）が格納されている。更に、アニメーション（動画）を表示する複数画面分のアニメーション表示データ（図 19 参照）、その他必要なメッセージを表示する為のメッセージ表示データなどが記憶されている。

【0035】次に、制御装置 35 に予め格納した複数の制御プログラムを介して達成される種々の機能について、図 9 の機能ブロック図により説明する。乱数発生手段 60、乱数抽選手段 61、抽選結果判定手段 62、停止図柄選択手段 63、図柄停止制御手段 64、停止図柄判定手段 65、更には、表示情報記憶手段 66、表示情報選択手段 67、情報表示制御手段 68、照明切換え手段 69、モータ駆動手段 70、リール位置検出手段 71 等が設けられている。乱数発生手段 60 は、スタートレバー 13 の操作により 3 個の回転リール 5 ～ 7 が回転を始めたときに抽選用の乱数を発生させる。

【0036】乱数抽選手段 61 は、スタートスイッチ 13a からの信号と乱数発生手段 60 で発生させた乱数に基づいて抽選を行なう。抽選結果判定手段 62 は、乱数抽選手段 61 における抽選結果を判定し、入賞を示唆するか、ビッグボーナスへの移行を示唆するか、或いはハズレを示唆するか否かの判定を行なう。停止図柄選択手段 63 は、抽選結果判定手段 62 における判定結果に基づいて回転リール 5 ～ 7 の停止時に図柄表示窓 3a ～ 3c に停止表示する図柄の組合せを選択する。

【0037】例えば、「ダイヤ、ダイヤ、ダイヤ」、「スイカ、スイカ、スイカ」、「チェリー、 、 」

（左端の回転リール 5 に「チェリー」の図柄を停止表示させ、他の回転リール 6 ～ 7 に任意の図柄を停止表示させる）等の図柄の組合わせを選択する。ビッグボーナスへの移行を示唆する場合は、例えば「7、7、7」の図柄の組合せを選択する。レギュラーボーナスへの移行を示唆する場合は、例えば「BAR、BAR、BAR」の図柄の

組合せを選択する。このレギュラーボーナスは、通常遊技と比較して遊技者がより多くのメダルを獲得できるようなゲームを、所定条件が達成されるまで行なうことが可能なゲーム態様である。

【0038】ビッグボーナスは、レギュラーボーナスを所定条件が達成されるまで行なうことが可能なゲーム態様であり、レギュラーボーナスを複数回行なうことにより、より一層多くのメダルを獲得することが可能となる。図柄停止制御手段64は、停止図柄選択手段63で選択された図柄の組合せと、ストップスイッチ14a～16aからのストップ信号に基づいて、モータ駆動手段70に駆動信号を出力する。更に、図柄停止制御手段64は、各リール駆動モータ51～53の制御を行なうて、図柄表示窓3a～3c内に停止表示される図柄の組合せが入賞態様或いはハズレの態様となるように、回転リール5～7を停止させるものである。

【0039】停止図柄判定手段65は、リール位置検出手段71からの停止位置信号に基づいて、全ての回転リール5～7が停止したとき、有効な入賞ラインL1～L5上に停止表示される図柄の組合せが入賞態様を構成するかどうかの判定を行なう。停止図柄判定手段65は、更に、入賞のときには、その停止図柄の組合せに基づく払い出しメダルの枚数に応じて、クレジットメダルの貯留枚数を増加したり、払い出し装置54を駆動してメダルの払い出しを行なう。

【0040】表示情報記憶手段66は、表示データメモリ37aなどで構成され、前述したように図7に示す種々の表示データを記憶している。表示情報選択手段67は、メダル投入センサ50から投入信号を受け、ベットスイッチ11aからベット信号を受け、停止図柄判定手段65から入賞態様かどうかの判定結果信号を受け、情報表示パネル4に表示すべき表示データを表示情報記憶手段66から選択的に読み込んで情報表示制御手段68に出力する。

【0041】更に、表示情報選択手段67は、入賞ラインL1～L5や種々のマークや動画を効果的に表示し得るように、3種類のLED34R、34G、34Bを組み合わせて駆動するように照明切換手段69を制御する。情報表示制御手段68は表示駆動回路26に表示データを出力するので、情報表示パネル4には、表示駆動回路26から受けた信号に対応する種々のパターンがドットパターンで表示される。

【0042】次に、以上説明したスロットマシン1の作動について説明する。遊技開始前の待機状態のときには、遊技説明表示データが読み込まれて情報表示パネル4に表示される。例えば、図10に示すように、情報表示パネル4のマトリクス表示部4aには、1)メダルを1～3枚投入、2)スタートレバーを操作、3)ストップボタンを順々に操作、等の操作説明情報が表示される。このとき、入賞ラインL1～L5やランプマークM

1～M3、M1aなどの不要な表示は一切ないので遊技者がこの操作説明情報を迅速に明瞭に見ることができる。

【0043】このとき、LED34R、34G、34Bを組み合わせて駆動し、照明機構31から青紫の光で照明されるので、これら操作説明情報を明瞭に且つ際立たせて表示することができる。このとき、待機状態用アニメーションを用意し、遊技説明表示データと切替え表示させてもよい。

【0044】遊技者が1枚目のメダルをメダル投入口10に投入したとき、図11に示すように、1メダル用入賞ラインL1が例えば4ドットの線幅で太く表示される。このとき、ゲーム開始が可能なので、「スタートOK!」というメッセージが同時に表示される。この場合にも、照明機構31から照明される青紫の光により、入賞ラインL1やメッセージが明瞭に表示される。遊技者が2枚目のメダルを投入したとき、図12に示すように2本の2メダル用入賞ラインL2、L3が追加して、例えば4ドットの線幅で強調して太く表示される。

【0045】更に、3枚目のメダルを投入したとき、図13に示すように3メダル用の入賞ラインL4、L5が追加して、例えば4ドットの線幅で強調して太く表示される。次に、スタートレバー13を操作すると、リール駆動モータ51～53が同時に駆動され、図14に示すように回転リール5～7が同時に所定回転方向に回転する。尚、図柄表示部5a～7aにおいて、下向きの長い矢印はリールの回転状態を示す。このとき、入賞ラインL1～L5の線幅が例えば2ドットに縮小するとともに、照明機構31から黄橙の光で照明することにより、入賞ラインL1～L5の表示コントラストを薄く（細い点線で図示）して見えにくくでき、図柄表示部5a～7aを移動する図柄等の下地が見易くなる。

【0046】次に、先ず左側のストップボタン14を操作したとき、図15に示すように、回転リール5の図柄表示部5aに表示された3つの図柄を図柄表示窓3aを通して確認できる。このとき、3つの表示図柄のうち、入賞に関係する特定図柄（例えば、「7」）が存在するときには、照明機構31から青紫の光で照明され、その特定図柄に関連する入賞ラインL1だけが明瞭に表示される。次にストップボタン15を所望のタイミングで操作したとき、図16に示すように、入賞ラインL1に対応して「7、7」が揃ったリーチ状態になったときには、文字列と線画からなるリーチマークM5が点滅表示される。即ち、このリーチマークM5も同様に、明瞭に表示させることができる。

【0047】こうして、リーチマークM5の表示を介してリーチ状態が明瞭に分かり、ゲームを盛り上げることができ、何れの入賞ラインL1に関連するのかが確認することができる。ここで、図17に示すように、リーチ状態になった左端の図柄「7」と中央の図柄「7」とに



わたるフラッシュマークM6を点滅表示させるようにしてもよい。このように演出することにより、本来静止画であるリール上の図柄を動的に表現することが可能となる。また、図18に示すように、未だ決定していない右側の図柄表示窓3cに対応するように、手を振りながらウイंकする女性のアニメーションA1を表示するようにしてもよい。更に、図19に示すように、動物「子犬」が右から左方向に走るアニメーションA2を表示するようにしてもよい。

【0048】最後に、右端のストップボタン16を操作したとき、図20に示すように、入賞ラインL1上に「7、7、7」が揃った大当たり状態になったときには、ビッグボーナスに移行したことを示す為に、12個のビッグボーナスのランプマークM1a（未点灯を示すランプマーク）とランプマークM1（点灯を示すランプマーク）とが表示され、大当たりマークM7が点滅にて表示される。この大当たり状態のときには、照明手段31から、同系色以外の種々の色の光でグラデーション的に変更しながら照明される。これにより、カラフルに変化する色の光を背景にして、大当たりマークM7が表示される。こうして、大当たりマークM7から大当たり状態が明確に分かり、ゲームを面白くし、遊技性を高めることができる。また、どの入賞ラインL1に関連するかが明瞭に分かる。尚、図21に示すように、大当たり状態になった3つの図柄「7、7、7」を囲むようにフラッシュマークM8を点滅表示させてもよい。

【0049】ところで、3つのストップボタン14～16を操作したときに、各入賞ラインL1～L5上の図柄の組合せがハズレのときであっても、リーチ目のときには、図22に示すようにリーチ目になった入賞ラインL4が表示される。また、リプレイが可能な場合は、そのリプレイになった入賞ラインL1～L5とリプレイを指示するランプマークM2を点灯するようにしてもよい。

【0050】このように、前面パネル2の背面近傍に、3つの図柄表示部5a～7aよりも前方に、中パネル3の前面近傍に光透過性のある情報表示パネル4を設け、その情報表示パネル4に発光可能な多数行多数列のドットを介してドットパターンで表示可能なマトリクス表示部4aを設け、各図柄表示部5a～7aの回転リール5の内側に、3種類の発光ダイオード34R、34G、34Bを有する照明機構31を夫々設けたので、情報表示パネル4の背面側から情報表示パネル4にこの発光色と補色関係の青紫の光を照明することで、回転リール上の図柄を照明すると同時に、マトリクス表示部4aに表示された、メダル投入で有効化された入賞ラインL1～L5や種々のアニメーションA1、A2や説明情報やメッセージ、リーチマークM5や大当たりマークM7などを明瞭に且つ際立たせて表示することができる。更に、ゲームを面白くして盛り上げることができ、スロットマシン1の性能を高めることができる。

【0051】また、マトリクス表示部4aには、前記の種々の情報以外にも、予め設定した絵図や文字列や線画などの情報をドットパターンで表示可能であるので、汎用性と自由度に優れる。しかも、大当たり状態等においては、種々の光をグラデーション的に変更させながら照明することで、大当たりマークM7を変化するカラフルな色の光を背景にして表示でき、大当たりを盛り上げてゲームを面白くし、遊技性を高めることができる。

【0052】しかも、情報表示パネル4は光透過性を有するので、情報表示パネル4により表示が行われていても、この情報表示パネル4を通して、図柄表示部5a～7aの図柄や中パネル3の前面に印されたその他の絵や文字などの下地が見えなくなることもなく、情報表示パネル4による表示情報と下地の情報とを重ね合わせて見ることができる。

【0053】そして、マトリクス表示部4aに必要な情報だけを表示できるので、遊技者による表示情報の確認が簡単化する。更に、情報表示パネル4のマトリクス表示部4aに、中パネル3に設けていたLED形の表示ランプに代わるランプマークM1～M3、M1aを表示するため、複数のLED表示ランプを省略して構成を簡単化することができる。

【0054】情報表示パネル4が、EL素子25を透明なガラス基板25aに固定した構成であるため、情報表示パネル4を薄型に構成できるし、表示データに対応するパルス電圧をEL素子25に印加したりするだけで、表示させることができるから、表示制御を簡単化することができる。また、情報表示パネル4を前面パネル2の背面側に配設したため、情報表示パネル4を前面パネル2で保護することができる。照明機構31を各図柄表示部5a～7a毎に、回転リール5～7の内側に設けたので、照明機構31を各回転リール5～7内側の空きスペースを有効活用してコンパクトに設けることができる。

【0055】本発明は、以上説明した実施形態に限定されるものではなく、本発明の趣旨を逸脱しない範囲で種々変更することができる。

1) 表示ランプの代わりのランプマークM1～M3、M1aをマトリクス表示部4aにドットパターンで表示する場合を例にして説明したが、表示ランプの代わりの1または複数のランプマークをセグメント表示部に設け、各ランプマークをセグメント表示するように構成してもよい。

【0056】2) 前記回転リール5～7やリール駆動モータ51～53に代えて、図柄表示部5a～7aに夫々対応する3つの液晶ディスプレイを設け、それら液晶ディスプレイに図柄を夫々スクロール表示させることのできる表示制御手段を設けてもよい。尤も、3つの液晶ディスプレイを1つの横幅の大きな液晶ディスプレイとして構成し、その画面に図柄表示部5a～7aに相当する3つの表示部を設けてもよい。



【0057】3) 前記照明機構31に、R、G、BからなるLED組を複数組分設けるようにしてもよい。この場合、ランプハウス33を大型化して設けたり、ランプハウス33内面を乱反射可能に形成するようにしてもよい。また、発光させる色の種類によって、赤LED34Rや緑LED34Gの数を青LED34Bよりも多くする等、同数でなくてもよい。

【0058】4) 前記発光ダイオード(LED)代えて、レーザ発光素子等、複数色に発光可能な各種の発光素子を用いてもよい。

5) 前記EL素子25の発光層を、ZnS(硫化亜鉛)以外の蛍光体で構成し、緑色や赤色や青色等、蛍光体特有の発光色に発光可能に構成してもよい。また、情報表示パネルに光の3原色(RGB)に発光可能な3枚のEL素子を組み込み、カラー画像を表示可能に構成してもよい。

6) 9リール式のスロットマシン等、種々のスロットマシンに本発明を適用し得ることは勿論である。

#### 【0059】

【発明の効果】 請求項1の発明によれば、作用の欄で説明したように、前面パネルの背面または背面近傍に、複数行複数列のドットを介してドットパターンで表示可能なマトリクス表示部を備えた光透過性のある情報表示パネルと、任意の色の光で照明可能な照明手段とを設けたので、複数の入賞ラインのうちのメダル投入で有効化された入賞ラインだけを表示させたり、複数文字のメッセージや絵図や線画をドットパターンで表示させたりすることができる。更に、照明手段により、任意の色の光で照明することができる。従って、遊技者は視線を移動させることなしに、回転リールと各種情報を明瞭に見ることができ、より遊技に集中することができる。

【0060】例えば、情報表示パネルのマトリクス表示部に、説明情報やメッセージなどの文字、「当たり」や「大当たり」や「リーチ状態」のときなどに、ゲームを盛り上げるような種々の絵図、メダル投入枚数に応じて有効化された入賞ラインなどの線画等の情報表示を表示することができる。その結果、情報表示の汎用性と自由度を格段に向上させ、スロットマシンの面白さ及び性能を改善することができる。

【0061】しかも、情報表示パネルは光透過性のものであり、照明手段により照明される適切な色の光を適宜選択することによって、情報表示パネルに表示された入賞ラインや絵図等を明瞭に且つ効果的に見せることができ、その着色した光により、より効果的にゲームを盛り上げることができる。

【0062】請求項2の発明によれば、前記各図柄表示部に設けられた回転リールの外周部を半透明に構成し、前記照明手段を各回転リールの内側に設けたので、照明手段を各回転リール内側の空きスペースを有効活用してコンパクトに設けることができる。しかも、半透明であ

る回転リールの外周部を介して広角度に且つ均一に拡散させて照明することができる。その他請求項1と同様の効果を奏する。

【0063】請求項3の発明によれば、前記情報表示パネルのマトリクス表示部は、複数の図柄表示部に対応する位置に、文字や絵図や複数の入賞ラインをドットパターンで表示可能に構成され、前記照明手段は、少なくとも情報表示パネルの発光色と同系色の光と、情報表示パネルの発光色と補色関係にある光を切換えて照明可能に構成されたので、情報表示パネルの発光色と補色関係にある光で照明しながら、メダル投入毎に、投入枚数に応じて有効化された入賞ラインや文字や絵図を、複数の図柄表示部に対応させてドットパターンで明瞭に各際立させて表示できる。また、情報表示パネルの発光色と同系色の光で照明することで、これら入賞ラインや文字や絵図を見えにくくすることができる。その他請求項1又は2と同様の効果を奏する。

【0064】請求項4の発明によれば、前記情報表示パネルが透明EL(エレクトロルミネッセンス)パネルであり、前記照明手段は赤、緑、青に夫々発光可能な3種類の光源を有するので、EL素子に設けた蛍光体に電界を印加し励起発光により表示することができ、表示情報パネルを薄型にコンパクトに構成でき、情報表示パネルの駆動制御如何により情報表示パネルに動画を表示させることも可能になる。しかも、赤、緑、青に夫々発光可能な3種類の光源を組合せて発光させるので、赤、緑、青以外に、橙色や桃色や黄緑等の所望の色の光で照明でき、情報表示パネルに表示された入賞ラインや絵図等を効果的に表示させたり、見えにくくしたり、更にはゲームを効果的に盛り上げることができる。その他請求項1～3の何れかと同様の効果を奏する。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施形態に係るスロットマシンの正面図である。

【図2】スロットマシンの要部拡大縦断側面図である。

【図3】照明機構の分解斜視図である。

【図4】前面パネルと情報表示パネルと中パネルの分解斜視図である。

【図5】情報表示パネルの背面図である。

【図6】スロットマシンの制御系のブロック図である。

【図7】表示データメモリに記憶した表示データを示す図表である。

【図8】情報表示パネルに表示した表示例を示す図である。

【図9】スロットマシンの制御系の機能ブロック図である。

【図10】情報表示パネルに表示した説明情報の表示例を示す図である。

【図11】1本の入賞ラインと説明情報を表示した表示例を示す図である。

【図 12】 3本の入賞ラインと説明情報を表示した表示例を示す図である。

【図 13】 5本の入賞ラインと説明情報を表示した表示例を示す図である。

【図 14】 回転リールが回転中のときの表示例を示す図である。

【図 15】 左端の回転リールのみを停止させたときの表示例を示す図である。

【図 16】 リーチ状態における表示例を示す図である。

【図 17】 リーチ状態における表示例の変形例を示す図である。

【図 18】 リーチ状態における表示例の変形例を示す図である。

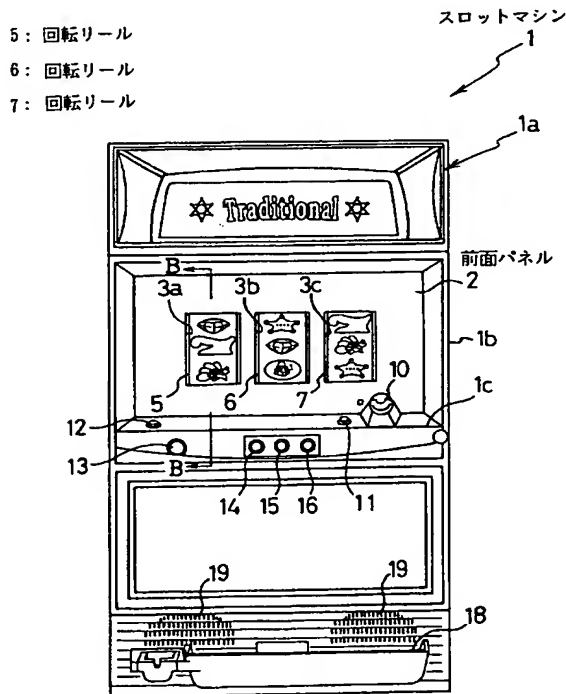
【図 19】 リーチ状態における表示例の変形例を示す図である。

【図 20】 大当たりにおける表示例を示す図である。

【図 21】 大当たりにおける表示例の変形例を示す図である。

【図 22】 リーチ目における表示例を示す図である。

【図 1】



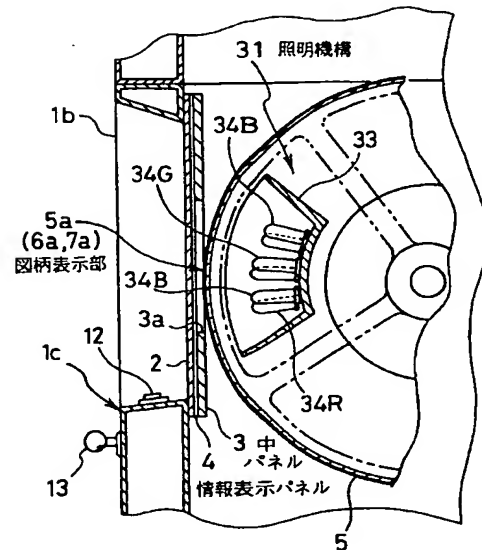
左方 ← → 右方

【図 23】 従来技術に係る図 1 相当図である。

【符号の説明】

- 1 スロットマシン
- 2 前面パネル
- 3 中パネル
- 4 情報表示パネル
- 4 a マトリクス表示部
- 5 回転リール
- 5 a 図柄表示部
- 6 回転リール
- 6 a 図柄表示部
- 7 回転リール
- 7 a 図柄表示部
- 25 EL素子 (エレクトロルミネッセンス素子)
- 31 照明機構
- 34 R 赤発光ダイオード (赤LED)
- 34 G 緑発光ダイオード (緑LED)
- 34 B 青発光ダイオード (青LED)

【図 2】

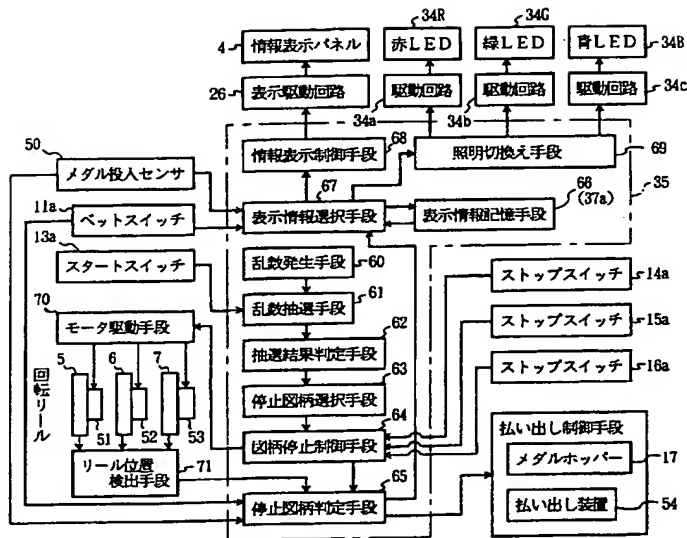


前方 ←

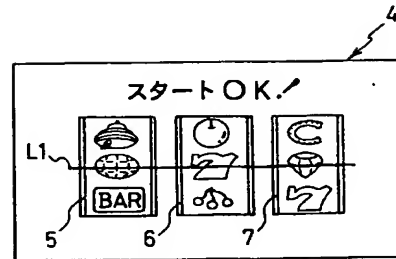
- 34 R : 赤発光ダイオード (赤LED)
- 34 G : 緑発光ダイオード (緑LED)
- 34 B : 青発光ダイオード (青LED)



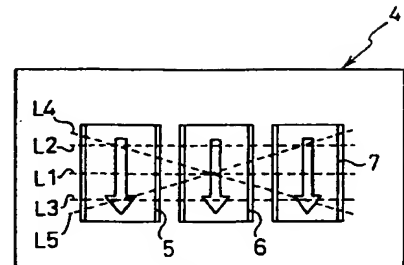
【図9】



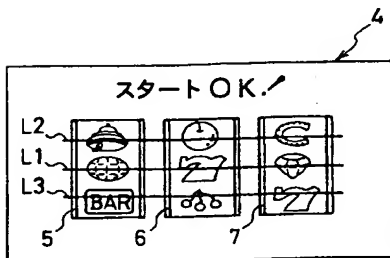
【図11】



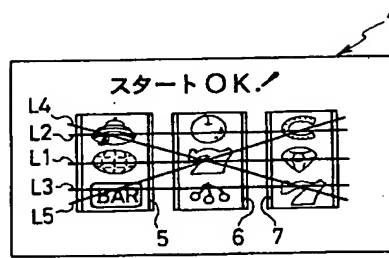
【図14】



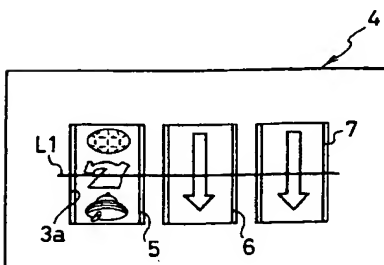
【図12】



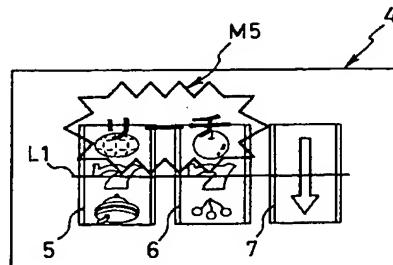
【図13】



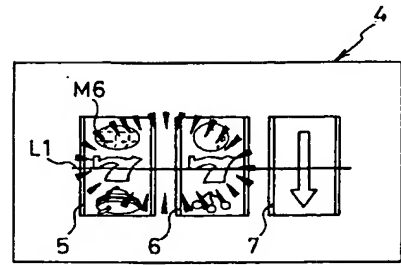
【図15】



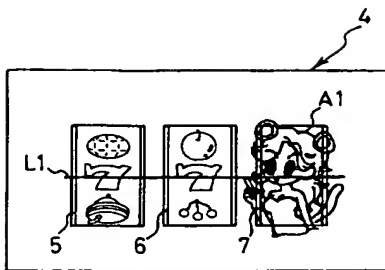
【図16】



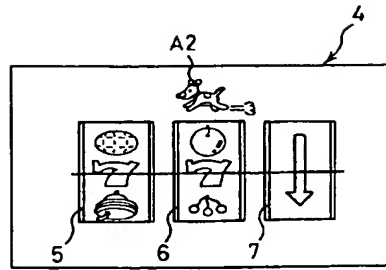
【図17】



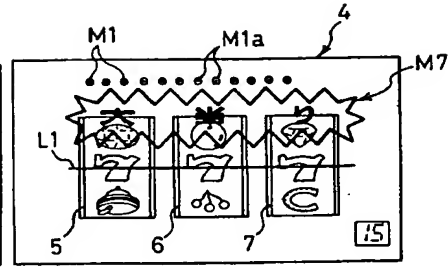
【図18】



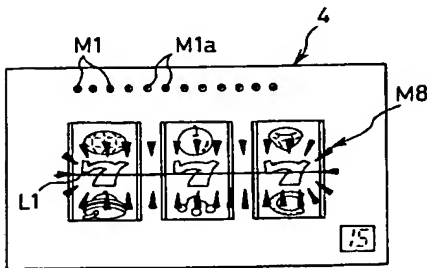
【図19】



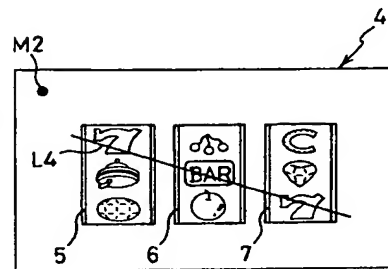
【図20】



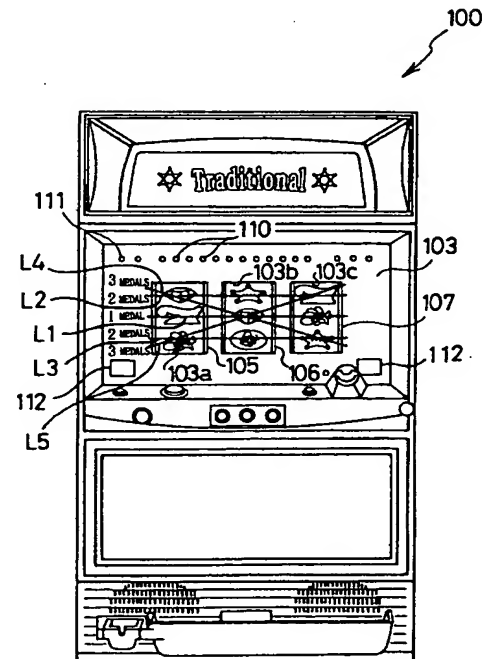
【図21】



【図22】



【図23】



フロントページの続き

(72)発明者 川上 浩  
岡山県新見市高尾362の1 山佐株式会社  
内

(72)発明者 大黒 雄二郎  
岡山県新見市高尾362の1 山佐株式会社  
内

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☒ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**